大麦品種「カシマゴール」の奨励品種採用	
【要約】大麦品種「カシマゴール」は、短稈で作りやすく、オオムギ縞萎縮病に強く、麦茶加工適性に優れることから、新たに奨励品種に採用する。本品種は、小麦の早生品種を共存して栽培する地域においては、収穫作業の競合を回避させることができる。	
農業技術センター　作物部	【連絡先】058-239-3132

【背景・ねらい】

本県の大麦の作付面積は 238ha であり（令和 6 年産時点）、平坦地では「さやかぜ」を中心に生産されている。本県産大麦のほとんどが麦茶用途であり、タンパク質含量の高い品種が求められている。当該品種は平成 27 年度に奨励品種採用されて以降、揖斐地域を中心に小麦との組合せで作付けされてきているが、小麦品種「イワイノダイチ」との熟期が近接しており、小麦の収穫を遅延させることもあって、大麦の生産拡大に支障が生じていた。

このことから、生産現場では小麦との収穫時期の競合が起きにくく、実需からは麦茶適性に優れる大麦品種が要望され、奨励品種決定調査で検討してきた。

【成果の内容・特徴】

1　大麦品種「カシマゴール」は、国立研究開発法人　農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所（現：作物研究部門）が、オオムギ縞萎縮病抵抗性と麦茶加工適性を有する「さやかぜ」を母、早生でうどんこ病に強く糯性の裸麦系統である「関東裸 77 号」を交配し、派生系統育種法により選抜・育成した品種である。

2　奨励品種決定調査における「さやかぜ」と比較した「カシマゴール」の特性は以下のとおりである（表１、２）。

（1）岐阜市又丸（標高 16.1m）における出穂期は５日早く、成熟期は３日早い。

（2）稈長は３cm 短く、穂長は同等で、穂数は多い。

（3）収量はやや少収～同等であり、千粒重も同等である。

（4）外観品質は同等で、タンパク質含有量は高く、麦茶加工適性は同程度である。

（5）調査で把握できない事項は育成地情報から引用し、以下の通りである。

a）播性程度は「Ⅰ」である。

b）中折性は「極難」である。

b）オオムギ縞萎縮病には「極強」である。

c）赤かび病には「やや弱」であり、うどんこ病には「強」である。

【成果の活用・留意点】

1　栽培適地は標高 70m以下とする。特に、春播性であるため凍霜害には留意し、適地以外での栽培には地域適応性を十分把握した上で導入する。

2　麦茶用途として生産するため、高タンパク質となるよう出穂期前後での施肥を行うに努める。

3　「カシマゴール」は平成 26 年産まで「ミノリムギ」を対照に検討を行っており、そのデータを加味している。

【具体的データ】

表１　奨励品種決定基本調査の結果

系統名及び品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	収量	収量比率	容積重	千粒重	病虫害及び諸障害 倒伏	赤さび病	うどんこ病	赤かび病	凍霜害	品質 概評	等級	蛋白質含量
	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	(kg/a)	(%)	(g/L)	(g)								(%)
対）さやかぜ	04.09	05.22	79	4.2	366	53.6	100	728	34.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.3	9.3
カシマゴール	04.04	05.19	76	4.2	455	46.0	86	728	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	3.5	1.0	9.9
参）ミノリムギ	04.19	06.03	98	5.4	395	45.3	84	706	35.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.5	8.8

※農業技術センター、岐阜市、H23～R6 年産の 5 か年平均値

表２　奨励品種決定現地調査の結果

	品種系統名	播種期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	原麦収量	収量比率	容積重	千粒重	生育中の障害 倒伏	赤さび病	うどんこ病	赤かび病	縞萎縮病	凍霜害	品質 概評	検査等級	蛋白質含量
		(月.日)	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	(kg/a)	(%)	(g/L)	(g)									(%)
標高70m未満	対 さやかぜ	11.07	4.12	5.27	68	3.8	433	30.6	100	702	34.0	0	0	0	0	0	0	3.5	1.5	9.1
	カシマゴール	11.07	4.06	5.22	65	4.1	371	34.1	111	710	34.4	0	0	0	0.3	0	0.3	3.4	1.5	9.3
標高70m以上	対 さやかぜ	10.26	4.14	5.30	76	3.7	402	38.9	100	734	30.6	0	0	0	0	0	0.2	3.3	1.0	8.6
	カシマゴール	10.26	4.08	5.27	71	4.1	459	35.1	90	727	29.5	0	0	0	0	0	0.5	3.1	1.8	9.5

※H24～26、R6 年産の４か年平均値
山県市(29m)、揖斐川町(29～105m)、池田町(27m)、郡上市(155m)、中津川市 (350m)

研究課題名：主要農作物（水稲・麦類・大豆）の奨励品種決定調査（令達：採種管理事業・昭和 28 年度～）

研究担当者：小椋正大、吉田一昭